

# 情報発信ガイドライン

## あなたが広報の主役です

この「情報発信ガイドライン」は、職員の皆さんが、  
情報発信に取り組むための  
心がまえや留意点をまとめています。

情報発信といっても広報担当者だけの役割ではありません。  
日々おこなっている全ての事務事業について、  
私たち一人ひとりが  
積極的に情報発信することにより  
市政に対する市民の理解は深まるでしょう。

“積極的な情報発信に向けて(マインド編)”と  
“情報発信の実務(スキル編)”で構成し、  
広報活動に携わったことのない人にもわかりやすく、  
使いやすいものとなるよう編集しました。  
まずは、一読することで情報発信の重要性を再認識していただくとともに、  
困った時の解決手段など、業務の参考としてください。

# 目 次

## 積極的な情報発信に向けて＜マインド編＞

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 1. 市民のニーズにこたえるために           | 3  |
| 2. 「広報・報道」、「広聴」、「情報公開」の相互連携 | 4  |
| 3. 情報発信関係                   | 5  |
| 4. 広聴関係                     | 7  |
| 5. 情報公開関係                   | 8  |
| 6. 人権尊重や個人情報保護              | 9  |
| 7. 広報の一元化                   | 11 |

## 情報発信の実務＜スキル編＞

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 情報発信の手法           | 13 |
| 2. 情報発信のポイント         | 14 |
| 3. 個人情報保護のポイント       | 20 |
| 4. ホームページの活用         | 23 |
| 5. 印刷物の活用            | 26 |
| 6. 区の広報紙の活用          | 33 |
| 7. 会見ボード、電光ニュースなどの活用 | 33 |
| 8. 報道機関の活用           | 34 |
| 9. 民間情報誌の活用          | 35 |
| 10. 新聞広告、交通広告        | 37 |
| 11. その他              | 37 |

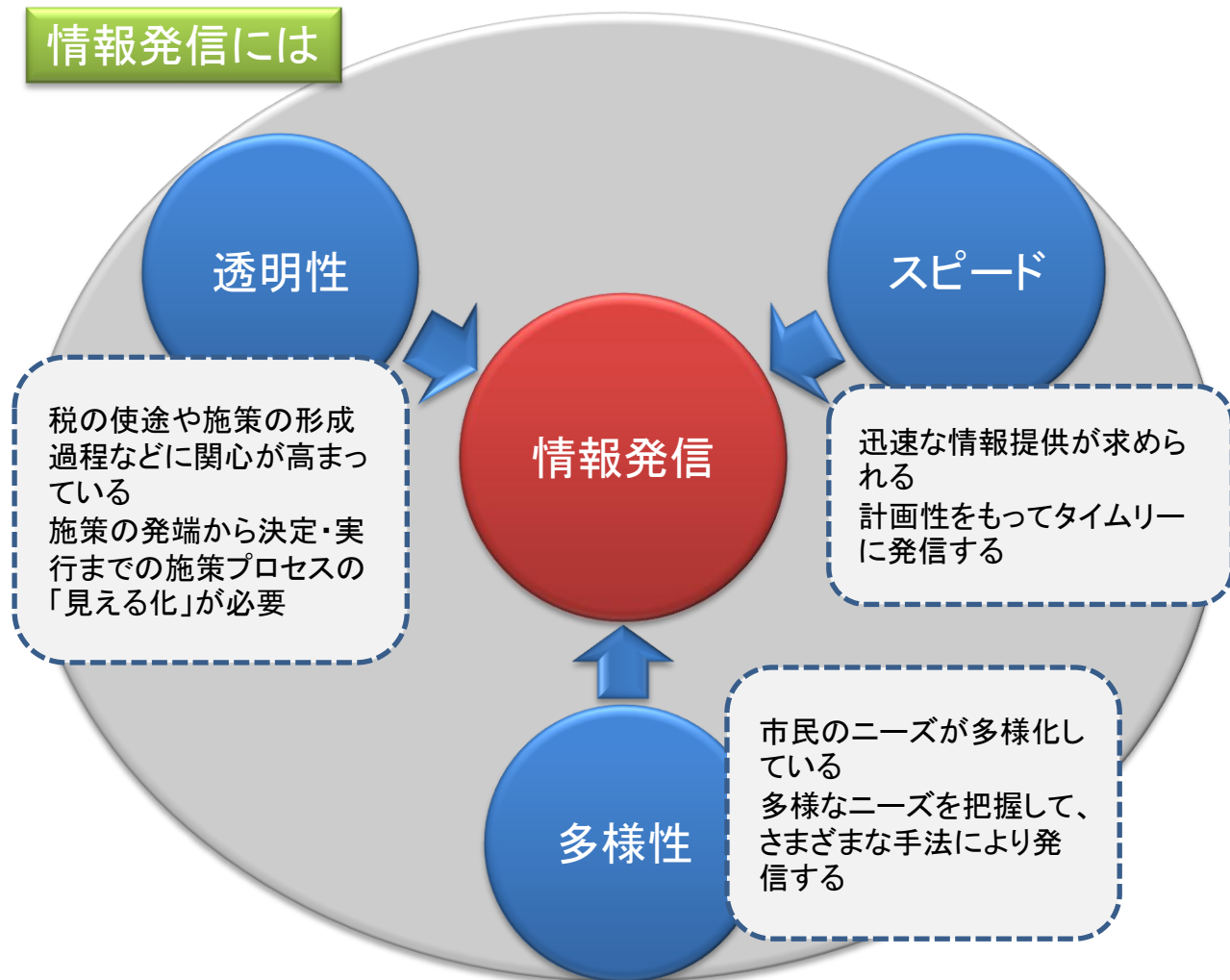
# 積極的な情報発信に向けて 〈マインド編〉

# 1. 市民のニーズにこたえるために

市民の生活様式や価値観の多様化などにより、「情報」はこれまで以上に重要な価値をもつようになりました。市民と良好なコミュニケーションを築くためにも、市民の視点にたった効果的な情報発信が必要です。

今後は、住民に、より身近な区役所において、施策や事業を決定していく、自律した自治体型の区政運営を目指しています。こうしたニアイズベターの考えのもと、区役所が中心となる情報と、局・室から市民に等しく伝えるべき情報をあわせた市政情報の発信を通じて、市民との情報共有を図りましょう。

## 情報発信には

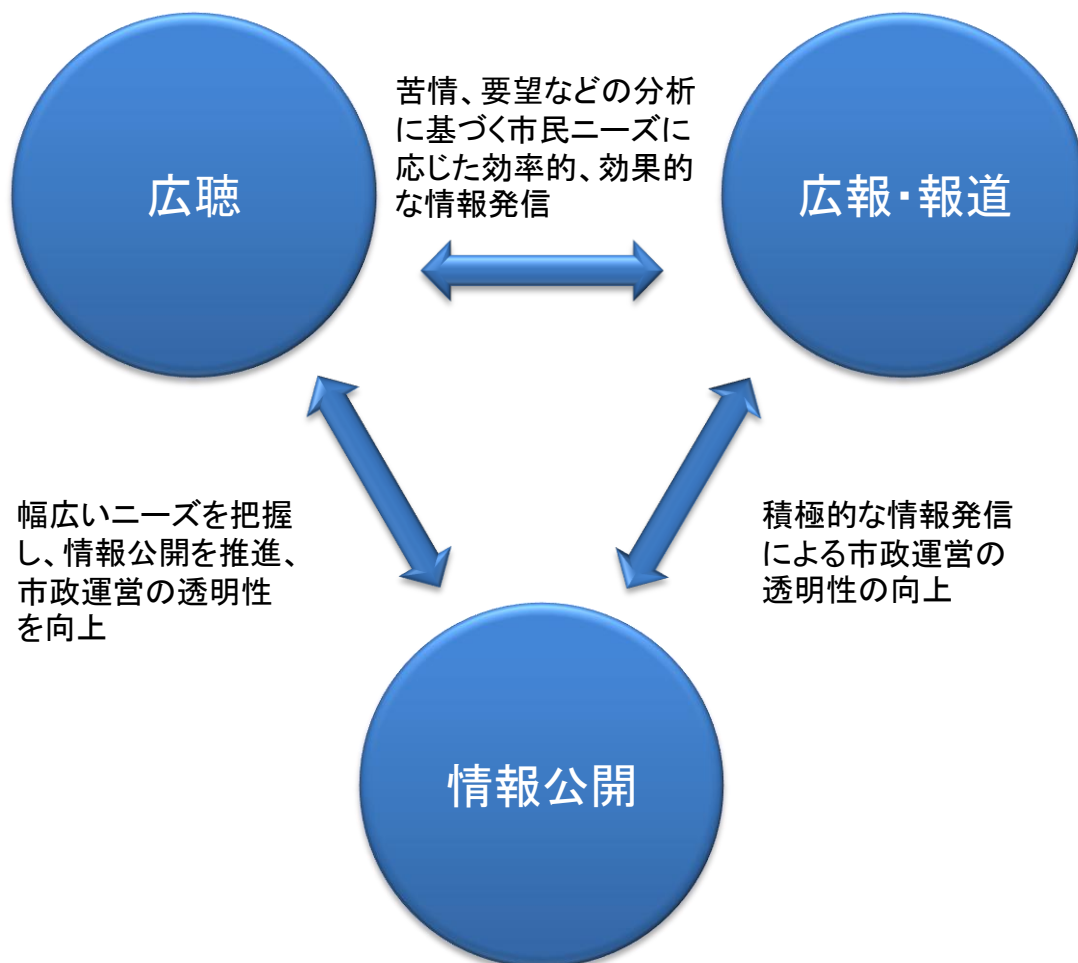


効果的な情報発信を行うにあたっては、多様化する市民ニーズを把握し、さまざまな手法を活用するとともに、迅速性が求められています。

また、税の使い道や施策の形成過程などに市民の関心が高まっているなか、市民に信頼される市政を実現するためには、施策の発端から決定・実行までの施策プロセスを「見える化」し、積極的に情報発信することにより、市民への説明責任を果たし、市政運営の透明性を確保することが必要です。

## 2. 「広報・報道」、「広聴」、「情報公開」の相互連携

「広報・報道」、「広聴」、「情報公開」は相互に連携する関係にあり、市政運営の透明性を確保するうえで重要な機能です。



「広報・報道」は、「広聴」や「情報公開」により把握する市民ニーズを分析活用することで、より効果的・効率的な情報発信を図ることができます

「情報公開」は、「広聴」が把握する市民ニーズを分析することにより、積極的な究極の情報公開（オープン市役所）の取組みを進めます。

「広聴」は、積極的な「広報・報道」や「情報公開」の推進により市政運営の透明性が向上することで、幅広く有意な提案、意見等を受けることができます。

このように、「広報・報道」、「広聴」、「情報公開」は相互に連携することが重要です。

